夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 吉田用

凶作克服の産業祭
豪華を廃し実質を盛って

例年秋尾を飾る豪華な行事の一つであった秋の産業文化祭は深刻な郡下の凶作を反映して取り止めとなり、これに変る凶作克服のための簡素な文化祭を関係者の間で計画されているが、冷害の影響で農村の収穫が相当遅れているので例年十一月末に開催されたものを今年は十二月中旬ころ開催する意向が強い

内容は実質本位 農機具の改良展など計画

主なる行事内容は恒例の派手な催しを一変して凶作を克服するための「凶作展示会を乗り切るための多般に亘る講演会」及び「農機具の改良展」「生活改善講演会」などが予想されている

また文化祭の実施については時節柄望ましくないと言う消極論もあるが、凶作に意気沈滞した農民の志気を鼓舞する意味でも従来のお祭り騒ぎ的な行事とは別な意味の産業文化祭が必要であると言う意見が強い

商店会も 趣旨に呼応して

なお平市内の商店界では、これら凶作乗り切り行事に呼応して名物「ダルマ市」や「おろし見本市」など各種の行事を行うべく、平商工会議所が中心となって計画を進めているが

特に凶作に沈滞する農民に協力支援する意味からこの行事期間に於ける凶作価格（原価）販売などサービス策も準備している

常炭連で スト指令準備

十月以降の新賃金を決める常炭連と東部石炭連盟の第三回団交は四日午後一時から平市労働会館で開き賃金要求については簡易な応答だけで終った

これに先立ち常炭連では闘争委員会を開き協議した結果、七日行われる第四回団交の連盟側回答が統一交渉十六炭砿のうち一炭砿でも新賃金百%に応じない場合は八日から実力行使に入ることを決定、五日スト準備指令を発するもよう、なおストの方法については七日団交に先立ち行われる第八回闘争委員会で決める

内郷冷害対策

内郷町冷害対策本部では九日午前九時から役場会議室に常任委員会を開き、冷害により準農家は現金収入が杜絶えるので、この金融打開策として各種事業によっての資金獲得について協議する

平郵便局の 切手趣味週間

平郵便局では、十一月一日から「切手趣味週間」として在庫の特殊切手類の蔵払いをすることになり好事家にとっては得難い機会なので待たれている

なお枚数が少ないので早目に申込むよう希んでいる

赤井炭礦が 突如休山を発表

租鉱権者が代替したと言う理由で労使間でごたごたを続けていた赤井村品川赤井炭鉱は一時休山することを発表、十月三十一日付で従業員三十四名を解雇した

同労組は二日臨時大会を開き協議した結果、再開する場合は全員を再採用すること、退職手当として最高額を支給すること、予告手当は一ケ月分を支給するほか三項目を要求することに決定、四日富永鉱業所長に要求書を出した

宮沢部落館 十一月行事決る

内郷宮沢部落館の十一月行事は次の通り決定した

▼八日、青年会、婦人会の川前紅葉狩り決行後 レクリエションとして郊外指導講習会を行う▼十五日、子鵜会のハイキング（コースは高野より川平へ）▼十三、四、五の三日間、青年会のスクエアダンス講習会▼二十五日、婦人会の衛生講話

石城地区高校の"小學區制"行わず 縣教委の定例會議で結論

石城、平地区の高校学区制施行問題は三、四の両日開催された県教委十一月定例会で協議した結果、郡民の一致した反対与論を反映、県教育委員会としては二十九年度入学に際し石城地区の高等学校に限り「小学区制」は施行しない旨満場一致で決定した

同日は石城地区学区制研究協議会の松本久吉、山崎忠兵衛、育田三郎、伊藤磐高PTA副会長なども急拠出県地元の事情を陳情すると共に強硬に反対したが、四日午後四時教委は遂に地元陳情団を閉め出して秘密会を開いた結果、二十九年度に限り石城地区の学区制を実施しないと言う結論に達したものと言われるが結局平、石城地区の学校配置その他の実情と地元民の強い反対与論が直接反映したもの

学校体育研究会

石城郡校長会第三支会主催の学校体育研究会は九日午前九時から好間村第一小校で開催する講師は佐々木等福大教授、鈴木源六同、草野仁石城教委主事

ローラー協会 一週年記念行事

秋の終尾を飾る湯本町の菊花展示会は去る二日から同町公民館ホールに二百余点が出品されて毎日百五、六十名の参観者が詰めかけ、盛会を極めているが

これに呼応して横浜輸出ローラー協会石城支部では支部発足一周年記念行事としてローラー、巻毛カナリヤ三十余点を出品して、参観者に興味を与え秋の催しにふさわしい盛況振りだった

この席上同支部では創立一年記念賞を平市長稲町竹原友校氏ほか十五名に授与した

叶多さんの善行

好間村下好間農業叶多清さん（七四）は三日文化の日を記念して教育活動費の一部に加えて下さいと好間中学校に一万円を寄贈関係者を感激させている

常磐労組 賃金斗争を本社に持越む

十月以降新賃金の経過措置、特別手当問題で難行を続けもみ抜いている常磐労組では、去る二日正午まで時間猶予をおくから「現交渉の会社側最後案を三日提示してもらいたい、さもなくば本社との交渉に入る」との通告を発した

日午前十時から湯本礦業所 り、「十月賃金は現すべり、特別手当は合併記念としての二千円と幾らか加算するから十七日まで待ってもらいたい」との会社意向を示したが組合側は一歩も前進していないと物別れとなり

既成方針通り四日斎藤組合長、高萩書記長ほか十一名が急拠上京、本社との交渉をもつことになった

論壇

再び谷川瀬土地問題

平市地下採掘問題の足掛りであり、近き将来常磐炭砿と平市を結びつける絶好のチャンスでもある谷川瀬通気竪抗建設敷地買収問題は、市当局と地主側の交渉が決裂、遂に立消えになってしまった

竪抗建設に協力を約しながらいざ土地買収となったら法外な高値を吹きかけた地主側にも共鳴出来かねるが、再三に亘る交渉の結果僅か二円の差までこぎつけたものを強引にはねつけてサッサと交渉打切を宣告した市当局の態度にも共鳴しかねる

事あるごとにどんどんウナギのぼりする土地問題に悩まされている市当局であって見れば、この際ウツカリ地主側の要求を受け入れ、悔を千歳に残す悪例を招いては、と慮外の心痛をしていることも解らぬではないがそうかと言ってウツチャリのまゝでは何事も成し得まい

市当局に如何なる目算あるやは、知る由もないが、地下採掘問題にしろ、商業都市、文教都市としての平市の将来は、常磐炭砿を切り離しては考えられない、近い将来平市に一大温泉郷を作ろうと言う大構想も「常磐」を除外しては秋の夜の夢でしかない。さうかと言って「常磐」を価大評価している必算ではない、当地方の発展は大乗的にみても炭田を共栄としての開発以外は考えられないからであるそこで「大常磐都市」の中心であるべき平市がこの関係を考る時、常磐との関連性は頗

も等しい密接さがなければならないし、平市と常磐炭砿との結びつきこそ「大常磐都市」建設のキーポイントであろう、この大事な結びつきを、よもや平市当局は勿論地主諸氏が度忘れしているのではなかろうかと敢えて苦言を呈する次第である、話

になって暗礁に
と言うこと
草にな
き

眼にのぼるもろもろの
工場誘致はともかく、
常磐の受入れ態勢が今

平職安便り

男、▼見習記者、一（市内）一八―二三、通勤▼店員、多数（郡内）一六―二三、住込▼外務員〃（市内）不問、通勤▼料理人二（〃）〃、二年以上有験者、住込▼農夫、多数（郡内）〃、〃▼製材工、一（内郷）二五―三五、五年以上有験者、通勤▲

水産加工夫、多数（江名、小名浜）一八―四〇、住込▼自動車整備工、二（市内）二〇―三〇 七年以上有験者、通勤▼電工、二（〃）一八―二五、二年以上有験者、〃▼組立工、一（〃）一五―二〇、〃▼運転手、一（錦町）二五―二七、有免許者、〃▼印刷工、一（稲田町）二五―三五〃▼家具職人、一（〃）不問、五年以上有験者、〃▼製缶工、一（市内）二三―二七、〃、〃▼雑役、多数（郡内）一八―四五、〃

女▼看護婦見習、二（草野村）一五―一九、住込▼店員、多数（郡内）一五―二三、通勤▼事務員、一（市内）一八―二三、〃▼水産加工婦、多数（江名町小名浜）一八―三五、住込▼美容師、一（湯本町）二〇―二七、〃▼縫工、四、五年の経験者、〃▼縫工、二（市内）一七―二〇、六ケ月以上〃、通勤▼女中、多数（郡内）一八―二三、住込▼雑役、〃（市内）一六―三〇、通勤

◎尋ね犬

犬種シエパート仔犬生後三ケ月
毛色黒褐色十一月四日午后三時頃
自宅田町より行方不明御連絡御届下された方には薄謝を呈す。

御連絡所 飼主平市田町電（六一五）三井五郎宅又は
平市大工町一七（五三二）社団法人 日本シェパード犬登録協会福島県浜通り支部迄!!

諸官庁御用達（責任本位）
イスの修繕 室内の装飾
齋藤椅子店
平市本局前電一、〇三三

移転 11月3日より 開診
湯本町上町115（鶴の湯前）電24
千葉歯科醫院 歯科医 千葉英一

女店員入用
市内居住、通勤、高卒 珠算経験ある方、本人履歴書御持参下さい、委細面談
平二電九七二 KK 古山電氣商会

お金を上手に殖したい方
お金を手軽に借りたい方
お気軽にお出で下さい
東京都千代田区神田神保町三ノ二七 大蔵省受理第四七一号
三菱殖産株式会社
平営業所 平市白銀町（電一、三八一）
福島市営業所
若松市営業所
小野新町出張所
広野町出張所
当社は全国相互金融協会（有力四〇社加盟）の正会員で全国主要都市百十数箇所に営業所があります

中華料理と ランチの
お食事のデパート
不二屋
電八八六、一七五〇

燃料の節約には
特殊棒炭
煉炭
東和カマド
平市一丁目角
市原商店
電話二四四 四九九番

尼子タクシー
市内 小型100円
TEL 640

ソ連から戦犯の父帰る
平市の新妻さん一家の喜び

戦犯容疑者としてソ連に抑留されている同胞の帰国実現が年内に可能であると言う朗報が伝えられているとき。戦後八年余五人の子供を抱えながら、ひたすらに夫の帰国の日を唯一つの希望として生き抜えて来た、平市五色町市営アパートの新妻かつみさん(四三)一家に、このほど抑留中の夫五郎さん(四八)から「近く帰れると思う」と書いたうれしい便りが届けられ。夢でなくてくれれば良いがと一家をよろこばしている（写真は嬉びを待つ一家と円内五郎さん）

もと"警察署長"
戦犯に問われて抑留八年

戦犯容疑で抑留中の新妻五郎さん(四八)は二十年九月から太知取市警察署長在職中にソ連に抑留されたもので、去る二十五年同胞と共に一度帰国の曙数に加わりながら。同氏がから太国境地区の警察署長の職に在つたと言う事が発覚再び戦犯容疑者の組に投じられたと伝えられる人で、終戦以来既に八年余の抑留生活を続けている

このほど留守家族に届けられた便りには

「母上のきょう報に接し覚悟はして居たが、現実に逆らうと悲しみに堪えぬ、在ソ八年間それのみ案じ来たのもをせめて一目元気な姿で手を握つて貰えたかつた（中略）帰国も遠くないと思われるので今しばらく家族の面倒を頼む（以下略）とあり異郷に想う切々たる哀愁と帰国再会への希望を寄せている

五人の子供を抱え留守を護る妻

留守を守る妻かつみさんは当時十三才の長女和子(三)さんを頭に五人の子供を抱え、から太で一年半の間売食い生活を続けた上、二十三年夫の実家である草野村に一時身を寄せ二十三年十一月平市五色町の市営アパートに住みついたものでその后

第三小学校の給食婦として現在…どう…です、夫…ば苦労もむくいら…えんです…が」と嬉し涙にも一筋の不安を抱いていた

昇給停止を取消せ
市職組が助役に申入れ

平市職員組合執行部は五日伊藤助役に対してさきに行つた会計主任草野孝七さんら十一名の昇給停止は市の条例を無視し職員の家庭生活をおびやかすものだからと取消を要求した

これに対し伊藤助役は弁明に窮し諸橋市長が帰つて来るまでは私の独断で返答は出来ないから待つてもらいたいと要求を拒否職組も六日市長が帰庁するので助役では話がわからんと市長帰庁後直接交渉を行うことに決定したが成行が注目されている

停止の理由なし
市長の帰平待って回答

伊藤助役は市条例にもとずく三、六、九ケ月の昇給制を無視して十月一日から昇給を受けるはずだつた九ケ月目（六百円から千円）の昇給受給者会計主任草野孝七さんら十一名の昇給を停止したもので

そこにはなんら停止の理由もなく職組の要求の返答にも困つていた

職組執行部談

「市当局は市条例を無視して昇給を停止した、当局は長期欠勤を理由にしているがこれでは理由薄弱で我々はまつたく市当局の腹がわからない、これは憲法を無視した独裁と同じだ。伊藤助役個人の感情でこう言うことをされては困る」

佐藤総務課長談

「これは市長の決裁を得て行つたもので市長が帰つて来るまでは返答出来ないと職組の要求をことわつた、市条例では勤務成績の良いものにしか昇給させないことになつている、今度昇給を停止したのは長期欠勤者と勤務成績の思はしくないものに対してとつた処置だ」

湯本音楽集会

湯本町の青年有志六十余名によつて同町音楽サークルをこのほど結成、毎月第二、第三の土曜日にコーラスやレコードコンサートなどを催すことになつており第二回集会は十四日午後六時半

植田中校文化祭

植田中学校では二十七日午前九時より同校内で文化祭行事として学芸会、図画、習字、工作、手芸、バザーを開催する

公民館に開き、今後のいて打合せする

郷公民館 運審委員会

内郷公民館では十日午後一時から役場会議室に運営審議委員会を開き、十月行事報告後十一月行事について審議するほか、同館運営の強化について慎重審議検討する

湯本青年学級カリキュラム

湯本町青年学級の十一月カリキュラムは次の通り決定した

▼数学（月）九、十六、二十三、三十、講師磯崎▼書道（火）十、二十四、講師未定▼国語（木）五、十二、十九、二十六、講師藤岡与八郎▼公民（金）六、十三、二十、二十七、講師未定

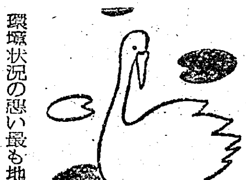
少年野球組合せ
四日の主将会議で決定

平市の名物である、市警主催本社後援の町内対抗少年野球大会は七、八の両日市営球場など十球場で三十三チームが出場して盛大に行われる、四日午後二時から市警会議室で主将会議を開催、抽選の結果左の通り組合せが決定した 優勝候補は昨年優勝の月見町 新川町、南町チーム辺りが人気を呼んでいる

組合せ

第一日（七日）　第二日（八日）

- 市A4　2、00
  - 市A3　12、20
    - 市A2　10、40
      - 工A3：工A1（柳町、向鎌田）／工A2（仲間町、北白土）
      - 工B3（平三3）：工B1（平三1）（ねぎ町、平窪）／工B2（平三2）（北目、胡摩沢、五丁目）
    - 市A1　9、00
      - 商A3：商A1（十五丁目、上高久）／商A2（材木町、長橋）
      - 商B3：商B1（田町、中塩）／商B2（南白土、谷川瀬）
  - 市B3　12、20
    - 市B2　10、40
      - 市A3：市A1（中山、才槌小路）／市A2（城山、大町）
      - 市B3：市B1（月見町、南町）／市B2（八幡小路、古鍛冶町）
    - 市B1　9、00
      - 磐A3：磐A1（六丁目、久保町）／磐A2（荒川、中神谷）
      - 磐B2：磐B1（白銀、新川町）／鎌田、三丁目



内郷（平太郎）のモデル地区
汗の結晶で見違える程改善された

環境状況の悪い最も地区的に伝染病発生率の多い内郷町宮字平太郎部落は 中小炭砿によつて密集された炭砿住宅と一般社外住宅で戸数百七十五戸、人口八百五十人の湯の岳を迎ぐ、細長い部落だけに環境衛生が町内一悪い汚名もあり、昨年平保健所から環境衛生モデル地区に指定され、汚名脱出に目覚めた部落民は協力してモデル地区の模範たらんと懸命なる努力をはらつた結果、十月末日現在までに伝染病発生患者が一名もなく、その成果に関係者を感嘆せしめ、部落民の汗の結晶が賞さんされている、立派な成績を収め、見違えるモデル地区を建設した平太郎部落の汗の結晶事業は、先づ衛生班の組織編成を衛生区長を委員長、世話係を副委員長、隣組十班から四十二名の実行委員を選任して構成、更に区内少年から中小学生三十名を選んで衛生少年協力班を組織して活動に乗り出した

この衛生班の事業活動は、共同便所五ケ所、個人便所五ケ所の改善、全部落便所に手洗器の設置、ちり箱を主要ケ所に十ケ新設、毎週下水溝並びに毎月河川のしゆんちよう清掃と改善、道路は少年協力班で清掃を実施し、そのほかそ族こん虫駆除には特に万全策を講じ消毒液（DDT、ホリゾールなど）の撒布並びに噴霧器による撒布、そ族は器具駆除薬を使用しての捕獲また八エ取りコンクールを六、七八月と実施、カ、ノミは月一回乃至二回DDT撒布したため今年は一回もノミを見なかつたというもの、カヤを吊らなかつたという家庭もあつたほどの好成績を収めた

ある反面環境の悪い地区だけに衛生教育は全然なく、平保健所係員及び町衛生係員の協力で月一回座談会を開いて、予防接種の必要性、伝染病予防に関する常識一般知識を語り、消化器伝染病の予防、肺結核予防と早期発見などを力説して衛生教育思想昂揚に尽力するほか、衛生映画、隣接地区に伝染病の発生時は直に掲示板又は回覧板を利用して一般の注意を促し、絶えず注意を喚起したもので、このたゆまざる部落民の努力が実を結び好成績をあげ、明るい社会を建設したものである、この模範モデル地区建設にまい進し好結果を及ぼした平太郎部落について町役場衛生係では、「部落民相互が励まし合つて涙ぐましい努力を払い、実に立派な成果を収めたことは町として喜ばしい次第で、この反映が町内一般に及ぼすものと期待するとともに今後も環境衛生昂揚に万全を期したい」と語つている

出生死亡 五日届出

出生＝平市紺屋町一二〇石井正一郎長男博、平市白銀町一三会田登二女伯子、平市梅町二一今野三郎三女陽子、平市鷹匠町四江面四郎二男紀子

死亡＝平市揺ノ内二二佐藤善蔵

天気予報

明日＝北西の風が一時やゝ強く好い天気だがところによつて一時雲が出る

海上＝風波が高くなつて来る

日本文壇の雄
舟橋聖一が心血を注いで毎日新聞に連載した優艶時代小説の堂々映画化!!
監督 大曾根辰夫
花の生涯
松本幸四郎　淡島千景　月丘夢路　高田浩吉　鶴田浩二　宮城千賀子　千秋みつる　北上弥太郎
11日ヨリ 平館

郷土の誇り
世界的名曲六段の作曲家……八橋検校は磐城平の生れ……
名曲 六段に因み
平名物 六段最中
平駅前 平凡 電五〇九番

豊の松の コロッケ
電 三四四 一八五一

辯護士事務所
左に事務所を設けあまねく法律事務の依頼に応じます
★前判事前審判官★
弁護士 猪狩一
平市駅前大通り三延ビル三階（電一、〇一七番）

正直たわし
他品に負けぬ
使い良い
高砂ほーき

簡易な貸付
◎全国唯一つの貸付専門
◎担保も積立金も要らない
磐洋勧業株式會社
平市四町目一〇
電話二一七番

割烹 潮畔

お知らせ
糞尿問題は電話一本で解決します
お申込は電（平）一六〇二番え
平市北白土三倉
平衛生社
自 八時